

秋田県障害者スポーツ指導者協議会

広報

チャレンジ!

平成20年11月28日発行
秋田県障害者スポーツ指導者協議会
〒010-0922
秋田市旭北栄町1番5号
(秋田県社会福祉会館内)
TEL・FAX 018-864-2750
E-mail: shidousha@akita-sports.jp



第8回全国障害者スポーツ大会 チャレンジ! おおいた大会

平成20年10月11日～10月13日
大分市九州石油ドーム 他

「笑顔、元気、ともに未来へ 新たな一歩」を大会スローガンに、第8回全国障害者スポーツ大会が平成20年10月11日、大分市の九州石油ドームで皇太子殿下をお迎えして開会式がおこなわれました。

この大会は国内障害者スポーツ大会の祭典で、全国各地から選手・役員約5,200人が参加し、3日間に渡り各会場で13正式競技、2オープン競技で熱戦が繰り広げられました。

本県は選手・役員112名からなる選手団を結成。7競技に出場し、金10・銀19・銅12のメダルを獲得しました。

閉会式は大会会長、大分県広瀬知事から来年開催地の新潟県へと渡され、最後に観客と選手が見守るなか、炬火が静かに消えた。

独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業

障害者スポーツ参加と生涯スポーツの芽生え



第8回全国障害者スポーツ大会大分大会

秋田県選手団 陸上競技監督

石垣 徹

今年も「全国障害者スポーツ大会」の選手団引率の機会をいただき、選手のもとめ役の立場で参加しました。今年は大分県で開催されましたが、秋田県選手団は昨年の「秋田わか杉大会」以上の成績を収めようと一致団結すべく、個人・団体各競技の選手役員総勢一二名が出場しました。「障害」というハンディをもちながらも、『全国大会』の大舞台で「これまで培った力と技」を全て出し尽くし競技をした選手たち。大会を終え帰秋して解団式に臨んだ選手たちの表情が皆、輝いていたのが印象的でした。

数年前、地元開催が決まって以来、県民の「成功させよう」という盛り上がりが年々大きくなった『秋田わか杉国体』と『秋田わか杉大会』。障害者スポーツに関わった一人として感動したことは、

「秋田わか杉大会の県代表になる」と選手選考大会への出場人数が年々増えてきたことでした。「障害者への理解」が浸透してきた現在ですが、障害をもつ人にとっては、日々の生活において様々な不敏さがまたまた多いと思われま

す。その状況下でも、自己の障害に甘えることなく、むしろ障害をもっていることを感じせないほど、一生懸命に競技に臨むアスリートたちの意気揚々とした姿がある「障害者スポーツ」へと活気づいてきたように思います。「練習の環境が整っていない、必要な練習用具を全部もっていない、仕事も忙しく練習する時間がない…」など、そんなマイナス点は障害者スポーツを頑張るアスリートたちの眼中には全く無く、笑顔をみせながら、躍動感に溢れた生き生きとした姿で練習や大会を楽しんでいました。

そして競技が終わると、記録や結果を知り、ガツクリしたり、大喜びしたり、悔しがったりする中、競い合ったライバル同士、互いにガツチリと握手を交わし、互いの健闘を讃え合う光景があちこちで見られました。

盛り上がりを見せた昨年の「秋田わか杉大会」から早一年。障害者スポーツへの参加意欲は今年も熱気に満ちていました。何度も障害者のスポーツ大会に出場してい

るアスリート層や、初めて出場したアスリート層が、自分を大きく、強く、思い思いにアピールをしていました。

競技に挑むことは勝敗も結果に表れることなるのですが、勝ち負け以上に素晴らしい経験のできる場でもあります。ゆえに障害をもつ人たちが障害者スポーツに参加することで、今後の自身の生涯スポーツへと発展していく土台と成り得ることを願っています。

サウンド・テーブル・テニスと盲導犬



第8回全国障害者スポーツ大会大分大会
秋田県選手団卓球競技サウンドテーブルテニス選手

佐々木 達夫

私が視覚障害者になって、スポーツといえば盲学校で授業中行ったフロアバレーでした。決して楽しくプレーした記憶はありません。

卒業した平成二年からは、スポーツに触れる機会はありませんでした。ところが、平成十五年頃秋田県心身障害者総合福祉センターで会議があり、「二階を通ると「カン、カン」と快い音がするので、好奇心から卓球室を覗くと、私が書類を仕分けする作業台と思っていた

台を使ってサウンド・テーブル・テニス（STT）と呼ばれるスポーツをしているではありませんか。今まで一度もやったことがないけれども、やらせてもらおうとラケットにボールがあたるではありませんか。これは面白いと内心思っていたら、室内で待機していた盲導犬パックスが目の前にボールがくるとくわえてしまうのです。口を開けて取り出すとボールに傷がついているのです。皆さんは笑顔で見てくれておりました。調子に乗り、目を改め行くとパックスは、三個もボールを破壊してしまいました。今度は笑顔ではありません、一個三百十円するのだと言われびっくり。それからしばらく遠ざかっておりました。

盲導犬は、十二歳で引退することになっていきます。いつの間にかパックスは、十二歳になってしまっておりまして。悲しいけれども、私には盲導犬がなんとしても必要です。心を鬼にして、次の盲導犬を申し込む時に「ボールを無視でき、待てる犬」を希望しました。訓練を終え日常の歩行に慣れた平成十七年、また、サウンド・テーブル・テニスをやりたいと思いま

した。しかし、二代目エイミスがボールをくわえるのではないかと考えると不安でした。「まず、試しに行ってみよう。もし、ボールに關心を示したら諦めよう。」と決心し緊張して卓球室に入り、プレーしたら全くボールや私のことに關心を示さず悠然と眠っているのです。盲導犬によって、こんなに違うものなのか感激しました。それから練習目にはできるだけ欠かさず参加するようになりました。いまでは、ボールを夢中で打ち合っていると、何もかも忘れ、動き回り汗が流れるとスツキリするのはです。また、椅子に座って話をするととても楽しいです。話題はサーブや打ち方などの工夫を話し合うのです。ときには延長し外で飲みながら熱く語り合うのです。これがまた楽しいのです。

一方で、スポーツを見る目が変わりまして。高校野球を聞いてみると平凡なフライを落球したりするのです。毎日毎日練習しているのになぜ凡ミスをするのか不思議でした。自分がやってみると、やはり始めの頃は勝負に拘わらず、簡単に勝てたのですが、それが試合

となると私も手が震えてくるのです。そして、平凡なミスを繰り返すのです。なぜなんだろうと考えると普段の精神状態でなくあがつてしまい体が硬くなるのです。これは、やはり勝とうとするからなのでしょう。本当に普段の力を出すことの難しさを知ってきまして。これを取り切る方法は練習あるのみだそうです。

盲導犬を見る目も変わってきました。今では、試合会場まで入り、私がプレーする傍らで待機できるようにになりました。私の心の安定に繋がっております。これも仲間への理解と関係者の英断のおかげと感謝します。

これからは盲導犬と一緒にSTTを続けて行きたいと思えます。いつかは手が震えずに堂々とプレーできる日が来ることを信じて練習しています。

追伸、盲導犬パックス号は、私にとつての一頭目の盲導犬でボールに対する執念を除くと素晴らしいパートナーでした。平成十七年九月二十二日に永眠しました。本犬の名誉のために申し添えます。

第4回 東北ブロック視覚障害者STT秋田大会

「STT選手秋田に集う」

東北6県より7団体47名の選手が秋田県心身障害者総合福祉センターに集い、第4回東北ブロック視覚障害者STT（サウンドテーブルテニス）秋田大会が開催され、STT公認審判員のほか、障害者スポーツ指導員やたくさんのボランティアで運営された。

「プレー」、「行きます」、「はい」、「カーン・コン・カーン」、「ポイント〇〇」と静寂の中リズムカルな掛け声と音に一挙動を集中させ、熱戦が繰り広げられていた。

秋田県障害者スポーツ指導者協議会 副会長 高野 均



第6回 秋田県障害者スポーツ大会

9月15日(月)晴天の中、第6回秋田県障害者スポーツ大会が開催されました。今大会は、来年度新潟県で開催される第9回全国障害者スポーツ大会新潟大会と第7回北海道・東北ブロック精神バレーボール大会の派遣選考大会ということで、県内各地から選手767名が参加し7競技各会場で熱戦が繰り広げられました。

当協議会からも大会運営スタッフとして、競技役員又はボランティアとして多くの会員が積極的に参加し、選手がベストを尽くせるよう運営がスムーズに運ぶよう裏方として活躍していました。

当日頑張った選手、そして選手介助員として運営スタッフとして参加された皆さん、本当にお疲れ様でした。今後の皆さんの更なるご活躍をお目にかかれることを、そしてまた来年、皆さんと大会へ参加できることを楽しみにしています。



第8回 全国障害者スポーツ大会 大分大会

勇気！ 感動！ '08おおいだ

秋田県障害者スポーツ指導者協議会 会員 及 川 まゆみ

夜半に降り出した雨も朝方にはすっかり上がり、さわやかな日差しの中、全国六十四の道府県・政令指定都市から選手、役員五千二百名が参加(本県百十二名を含む)、代表約二千名が入場行進し、会場から大きな拍手の中開会宣言が行われ、十一日の午後から十三日までの三日間、各会場で競技がスタートし、熱戦が繰り広げられた。

開会式直後の陸上競技では、五十m走少年・青年男子の競技がスタートした。

そして翌十二日、コンパルホール会場での男子バスケット競技は、コーチ五名のチームワークの良さが、紛れもなく選手たちのチームワーク、技量のレベルアップに繋がっていたようだ。技術面、戦術面、あらゆる場面での問題解決をコーチ五名でコミュニケーションをとりながら当たっているチームワークの良さが、この大会に向けての選手育成にも現れているようだった。

第一試合、大分に勝利し、「第二試合準決勝の愛知戦、決勝の東京戦で優勝を目指す」との監督の意気ごみどおり、準決勝の愛知戦

では想定した練習が実を結び、そして戦術が功を奏し、見事逆転勝利をもたらした。選手たちに緊張はなかったが、勝利に喜びの涙を流した選手もいた。

対東京の決勝戦、実力の差はいかんともしがたくスピードについていけず涙を吞んだが、「二、三年後には必ず優勝する」と決意も新たにまた厳しい練習に励んでいる。





国体の毎年開催が問われている
昨年、選手の目標、生きがい、全
国大会という大舞台を経験し、最
高のパフォーマンスをすることは
必要なことと思われる。
さらに役員、ボランテニア、県
民が丸となって最高の舞台を作
ろうと心一つにできる滅多にな
い機会でもあると思う。
今回の大分大会も、役員、ボラ
ンテニアの皆さんがそれぞれの立
場で一生懸命に、暖かく手際よく
テキパキと見事にこなしておりま
したし、こちらの質問にも的確に
対応してくれ、とてもクオリティ
の高い素晴らしい方々だった。
選手の皆さんから勇気と感動を
もらい、明日への活力にして皆が
暖かい気持ちになり、それが家庭
の平和、ひいては世界平和に繋が
るのではないかと思った。



県内スポーツクラブの紹介

秋田県障害者 ゲートボール協会

〒010-1623 秋田市新屋町字新町後278-32
会長 川田 直政
TEL 018-866-1341(FAX018-865-2099)
時間外夜間等018-828-6979(FAX共通)

☆県内の障害者が中心として活動しております。経験の有無を問わず興味のある方は是非気軽に参加して下さい。年1回の全県大会その他交流大会等行っております。会費は年間1,000円です。

秋田県身体障害者卓球協会

〒010-0029 秋田市檜山川口境20-2-203
会長 川村 保
TEL 018-831-0873

☆練習は毎週土曜午後、新屋の勤労身体障害者スポーツセンター体育館（福祉団地内）で開催。興味のある方、お気軽に参加下さい。

第5回 わくわくふれ合いスポーツ交流会

爽やかな
汗・汗!!

今年度助成を受け、秋田県障害者スポーツ協会主催のもと行われてきた交流会も、回を重ね第5回交流会として平成20年9月5日（金）に県立六郷高校の体育館を会場に行われた。

県立六郷高校と県立大曲養護学校の生徒（総勢80名）が参加し、ユニホックやフライングディスク、バスケットボールの各競技に別れ、限られた時間の中汗を流して楽しんでいた。



独立行政法人 福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」より助成を受け、この度第二号を発行することになりました。
発行に寄稿をしていただき、ご協力ありがとうございました。
今後ともご意見ご要望と共に宜しくお願い致します。

(編集部)

編集
後記

ホームページ 開設!!

平成20年9月下旬より、秋田県障害者スポーツ指導者協議会で念願のホームページを開設しました。

秋田県障害者スポーツ指導者協議会

<http://www.akita-sports.jp/shidou>

